

2025年

9・10 No.405  
月号

神戸医療生活協同組合

ISO9001認証取得

主な記事

秋の生協強化月間 ..... P2

核兵器のない平和な世界の実現を ..... P5

事業所のとりくみ ..... P8

健康の輪・助け合いの輪・世直しの輪

# 三つの輪



## 被爆80年



### 世代をこえて 語り継ぐ



原水爆禁止世界大会（広島・長崎）に8人が参加しました。詳しくは5面をご覧ください。



組合員数  
5万7,860人

出資金総額  
20億1,555万9700円

1人あたり出資金額  
3万4,835円

支部数  
53支部

班数  
611班

7月31日現在

健康・くらしに関するお困りごとは神戸医療生協にご相談ください

神戸協同病院 078(641)6211

いたやどクリニック 078(611)3681

番町診療所 078(577)1281

ひまわり診療所 078(941)5725

協同歯科 078(913)1155

いたやど歯科 078(612)3160

生協なでしこ歯科 078(978)6480

訪問看護STつばさ 078(646)2371

ほのぼのの郷

介護センターきょうどう

介護センターふたみ

介護ショップきょうどう

サービス付高齢者向け住宅

きょうどうの家

078(949)2345

078(621)5677

078(941)0905

078(641)4444

078(621)0132

きかん紙三つの輪は地域の組合員さんによる手配りで2ヵ月に1回配布しています。配布のお伝いをしていただける方は 健康まちづくり部 078(641)4322まで、ご連絡ください。





# 核兵器のない 平和な世界の実現を

被爆80年、原水爆禁止世界大会(広島・長崎)に参加しました。

8月4日から6日までの広島、組合員1人、職員4人。

8月7日から9日まで長崎、職員3人の計8人が参加し、平和について考えました。



## 平和への誓い

平和記念式典では、子ども代表による平和への誓いのスピーチがとても感動的でした。そのなかでも、“one voice”たとえ一つの声でも学んだ事実に思いを込めて伝えれば変化をもたらすことができるという言葉が印象に残りました。行動する勇気を持つことが大事だと教えられました。

(神戸協同病院健診係 山吹 梢)

## 呉基地めぐり

## 動く分科会に参加しました

自衛隊の弾薬庫から550m以内には民家などがあつてはならないと定められているはずが、どう見ても550m以内に民家やみかん畠などがあり、周辺住民の安全が守られていない現実に驚きました。真近で潜水艦を見て、恐ろしさと、本当にこんなにもたくさん必要なのだろうかと疑問でした。

(介護ショップきょうどう 高橋 祐太)



初めての原水爆禁止世界大会に参加して、たくさんの学びがありました。戦争も核兵器もない世界を願います。  
(須磨区組合員 鶴田 鉄夫)

## 分科会

## 非核平和の日本とアジア

米国人パネリスト、アン・ライトさんの原爆投下は恥すべき行為で謝罪するとの言葉、韓国人パネリスト、キム・ジンヨンさんの日韓併合の歴史を踏まえたうえで日本と手を取り合おうとの言葉に胸をうたれました。平和を推進するには排外主義・差別主義を止めて、団結することが必要です。

(本部健康まちづくり部 八重 尚子)

## 被爆体験の伝承と未来

被爆から80年が経ち、被爆体験をされた方が、若くても80歳代という事に驚き、これから先は、被爆体験のない世代が語り継ぐために、しっかりと学びを深める必要があると感じました。原爆放射線によって熱傷、外傷が軽度であっても大量の放射線を受けた人の多くが全身の脱力や嘔吐など、急性放射能障害が現れ衰弱し、被爆から10日前後までに亡くなつたと聞き、本当に恐ろしいものだと改めて学びました。

(神戸協同病院看護師 松田 奈美)

長田・北区ブロックの組合員で7,000羽の折り鶴を完成させました。

協同病院外来ボランティアさんの声掛けで患者さんにも折っていました。



カンパのご協力ありがとうございました。

集められたカンパで原水禁世界大会への代表送り出しが実現しています。

今年も支部・事業所から553,219円(8月12日現在)をお寄せいただきました。



## 歩く脳トレ



支部からちょっと西の方で、今から4年前スクエアステップ班を結成しました。参加者はみんな元気で熱心で和気合いあいとしています。ステップができない時は丁寧に説明します。できた時は達成感がありとてもうれしそうです。誰かが飴やチョコレートを持ってきてみんなで休憩します。それからまた約1時間ぐらいします。フレイル予防にとてもいいです。

- 毎月第1火曜日14時～
- あかね川自治会館(大久保町西島)

## 明石ブロック あかね川班 明石しおさい部

班活動についての詳しいお問い合わせ先  
TEL 078-641-4322 健康まちづくり部

## マージャンしながら ボケ防止



昨年に発足した「せせらぎ支部マージャン班」は、リーダーがちょっとかじっただけだと謙遜しますが、パイを握ったこともない素人ばかりのなかで、手取り足取り教えてくれます。まずは、パイをガシャガシャ混ぜることからやってみると大変面白く笑いの渦。「頭を使うね」「ボケ防止になる」今は、不定期ですが9月から定期にしようと話合っていて、楽しみが増えました。

- 不定期
- かもめ会館(兵庫区中道通)

## 番詰ブロック マージャン 班 せせらぎ支部

## 原発ゼロの社会へ

Vol.58 原発の新增設・建て替えは必要なのか

関西電力が、福井県の美浜原発の敷地内に原発の新增設・建て替えを検討すると、参院選の投開票日の2日後に発表しました。現在、美浜原発を含め、地方裁判所で運転差し止めを求める訴訟が行われており、12月に判決が出る予定です。その判断を待たない発表は、原発稼働の結論ありきで許せません。

東京電力福島第一原発の事故によって「ふる里のはく奪」「コミュニティが破壊され」「家族が崩壊」したまま14年が経過、福島からの避難者はまだ5万人以上もおられ、避難を続けている人の4割はPTSDの疑いがあると言われています。

国や東電は、除染作業によって発生した汚染土や放射性物質は2045年までに福島県外に最終処分完了と計画しています。日本原子力学会では廃炉作業が最短でも100年かかると発表していますが、国や東電は廃炉の終了年次を更新せず、原発稼働に前のめりです。

原発の新設には最低でも20年かかると言われております、核のゴミや再処理など解決方法も確立せず、いまだに人々のいのちや暮らしを脅かす原発を選ぶのかどうかが問われています。国や電力会社にも、私たちの声を伝えていきましょう。



【リハビリテーション科より】

浜川宗太郎さんは、昨年からデイケアで頑張っています。リハビリはもちろん、楽しみながらできる体と頭の体操が大好評！今年のリハ科は認知症をキーワードに取り組んでいます。班会にぜひ呼んでください。

作業療法士になつて、今年で5年目になります。この仕事を知つたきっかけは高校時代に受けた適性職業診断のアンケートでした。のりのリハビリ見学で、ご飯が食べづらい患者さんが、道具を用いることで自分で食べられる姿に感銘を受けました。物作りは得意ではありませんが、人の為に役立てるなら作りた

いと思つています。時間をかけて作った自助具を患者さんが使い続けてくださった時は嬉しかつたです。班会で私の仕事を伝える機会があり、地域の組合員さんと交流があることに魅力を感じました。今はデイケアで働き、利用者さんが楽しんでリハビリに取り組んで頂けるよう日々頑張っています。

推し！

神戸協同病院  
リハビリテーション科  
作業療法士

浜川 宗太郎さん



連続シリーズ 事業所のとりくみ

7

## 神戸協同病院の緩和ケア病棟は10周年をむかえます

神戸協同病院の5階病棟はベッド数19床、全室個室の緩和ケア病棟です。組合員さん、地域からの期待を胸に、2015年に開設し今年で10周年を迎えます。

緩和ケア病棟はがんの患者さんを対象とし、身体の痛みなどの辛い症状、こころのつらさ、不安を和らげることを目指しています。お一人おひとりが大切にしている事をお伺いし、その人らしく過ごせるようにサポートしています。症状を和らげることが最優先ですが、気持ちよくお風呂に入る、お散歩で外の空気を感じる、好きな歌を聞いて過ごす、お気に入りの店のお好み焼きを食べる、そんな当たり前の日常を大切にしています。大切な記念日やお誕生日を一緒にお祝いさせていただくこともあります。医師や看護師、その他のすべてのスタッフが患者さんの人生の大切なひとときに関わらせていただく重みを感じながら、一緒に悩み、喜び、時には涙し、この10年が過ぎました。

コロナ禍を経て、以前行っていたボランティアさんによるティータイムや遺族会の開催など再開できていないこともあります。当病棟で過ごして頂いた繋がりを大切にご遺族にお手紙を送らせ



趣味のマージャンを家族と一緒に楽しむひととき

ていただくなど、今できることを考え取り組んでいます。

この度、緩和ケア病棟10周年企画として、これまでの歩みのご報告とともに記念講演も予定されておりますので是非ご参加ください。

(神戸協同病院5階緩和ケア病棟 看護師長 井口環)

### 緩和ケア病棟10周年企画

参加費  
無料

とき 10月16日(木)18:00～20:00

ところ 長田区文化センター 別館ピフレホール  
(東急プラザ新長田3階)

記念講演

テーマ「緩和ケア病棟からの報告」

関本 雅子(かえでホームケアクリニック顧問)

### お問い合わせ

緩和ケア病棟への入院を希望される方は、緩和ケア病棟入院相談の手続きが必要になります。詳しくは地域医療部連携係078-641-6211(代表)まで